

TOP > ニュース > 企業・団体関連ニュース > 「子供たちへエールを」栃木の夜空へ1000発の花火を打ち上げ

## 「子供たちへエールを」栃木の夜空へ1000発の花火を打ち上げ

企業・団体 2020年09月23日

印刷 

### 自動車流通市場研究所など業界関係者がサプライズ花火大会を開催

貧困や虐待、ネグレクトで困窮する子供たちへ義務教育後の就学支援と自動車業界への就業支援の活動を展開するNPO法人自動車流通市場研究所（栃木県小山市、中尾聡理事長）は、日頃から同法人の活動を支援している業界関係企業6社とともにシルバーウィークの2日目、9月20日（日）に栃木市大平町運動公園でサプライズ花火大会を開催した。

同法人は栃木県南地域にある困窮する子供たちへ居場所を提供する3施設と提携し、そこに通う子供たち40人に対し、自動車に興味を持ってもらうため「わくわく教室」や職場体験を行う「わくわくツアー」を実施している。

中尾理事長はサプライズ花火大会開催について「今回のコロナ禍によって、予定していた子供たちへのイベントがほとんど延期になっている。残念な思いをしている子供たちに少しでも元気になってもらうため。また、今回はシルバー期間中に開催したが、このような子供たちは、長期間の休みでもなかなか楽しい予定がないことから、少しでも楽しいことが提供できればと思い、仲間とともに開催した」としている。


今回、ともに開催した企業は、商業車卸のサオリエクスポート（栃木・ジャヤタタ・ハッティアラッチ社長）、オークションの構内業務を運営している湘南エンタープライズ（小山・仲三川佳和社長）をはじめアライアンス（栃木・長山安隆代表）、最上工業（栃木・最上義和社長）、岡安興業（栃木・岡安竜弥社長）の5社に加え、地域に関係なく主旨に賛同して参加した買取店FCカーセブンディベロップメント（東京・井上貴之社長）の6社となる。

会場に訪れた子供たちは、「花火をこんな近くで見たのは生まれて初めて、大切な思い出になる」、「今まで見た花火の中でも一番大きかった。とっても嬉しかった」、また直接会場に来られなかった子供たちも「小山からでもしっかり見えた。元氣になれた」など多くの喜びの声が寄せられている。

会社名：自動車流通市場研究所（自流通研）



サプライズ花火大会の様子

 複数画像有

拡大 

